

平成 30 年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 歴史博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検																																																								
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向																																																						
利用状況	利用者満足度	(公会計事業目標調整シートの満足度の目標数値) 72%	アンケートを実施し、意見を活用して改善を行う。	H30年度の当館満足度総計のうち、「大変満足」「満足」の合計 95.0%	○	今後もアンケート等により様々な意見を活用しながら、利用者に満足してもらえるような展示や催し物を企画・実施していく。																																																						
	入館者	(H25～27 3か年平均) 149,600人	集客力ある展覧会や各種事業の実施	121,415人	△	展覧会、催し物の企画に工夫を凝らし、さらに魅力ある博物館となるよう努力を続けるとともに、広報も引き続き注力していく。																																																						
	教育・普及事業への参加者	8,200人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座・講演会等</td> <td>31</td> <td>2,035</td> </tr> <tr> <td>展示解説</td> <td>47</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>体験教室・見学会</td> <td>22</td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムコンサート</td> <td>2</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムミッション</td> <td>1</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5,950</td> </tr> <tr> <td>出張講座</td> <td>32</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>8,450人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	行事名	件数	参加者数	講座・講演会等	31	2,035	展示解説	47	1,300	体験教室・見学会	22	495	ミュージアムコンサート	2	120	ミュージアムミッション	1	2,000	計		5,950	出張講座	32	2,500	総計	8,450人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①講座・講演会等</td> <td>34</td> <td>1,683</td> </tr> <tr> <td>②展示解説</td> <td>57</td> <td>1,758</td> </tr> <tr> <td>③体験教室・見学会</td> <td>26</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td>④ミュージアムコンサート</td> <td>3</td> <td>435</td> </tr> <tr> <td>⑤ミュージアムミッション</td> <td>1</td> <td>1,503</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5,837</td> </tr> <tr> <td>出張講座</td> <td>35</td> <td>2,682</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>8,519人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	行事名	件数	参加者数	①講座・講演会等	34	1,683	②展示解説	57	1,758	③体験教室・見学会	26	458	④ミュージアムコンサート	3	435	⑤ミュージアムミッション	1	1,503	計		5,837	出張講座	35	2,682	総計	8,519人		○	引き続き集客力のある講座・講演会、体験教室等のイベントを運営し、館の魅力を伝える努力をしていく。
	行事名	件数	参加者数																																																									
講座・講演会等	31	2,035																																																										
展示解説	47	1,300																																																										
体験教室・見学会	22	495																																																										
ミュージアムコンサート	2	120																																																										
ミュージアムミッション	1	2,000																																																										
計		5,950																																																										
出張講座	32	2,500																																																										
総計	8,450人																																																											
行事名	件数	参加者数																																																										
①講座・講演会等	34	1,683																																																										
②展示解説	57	1,758																																																										
③体験教室・見学会	26	458																																																										
④ミュージアムコンサート	3	435																																																										
⑤ミュージアムミッション	1	1,503																																																										
計		5,837																																																										
出張講座	35	2,682																																																										
総計	8,519人																																																											
インターネットアクセス	(H25～27 3か年平均) 717,000件	・システムの安定的な管理運用を行う。 ・ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める。	1,090,768件	○	引続きシステムの安定的な管理運用を行うとともに、ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める。																																																							

資料・収蔵品	活用	(特別利用) (H25～27 3か年平均) 250件 670点	写真資料の特別利用について、申請者に適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行する。	213件 543点	△	写真資料の特別利用申請者に対し、引き続き適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行する。
		(常設展示室における展示) 約1,200件	再開館当初の展示資料数約900件、年6日設けられた常設展のための資料整理休館日を活用して約300件を入れ替え紹介する。(ただし、このほかに特別展に展示する館蔵資料もある。)	1,460件	○	定期的な展示替えを実施するとともに、数点程度の資料で構成したトピック展示を開催するなど、各テーマで工夫を行った。来年度以降も同様の取り組みを継続し、常設展への来館者の関心をさらに高められるよう努める。
	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的要因を除く毀損(汚破損)の防止。 ・計画的な資料修繕。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IPM(総合的害虫管理)を継続する。 ・資料受け入れ時に適切な保存処置を行う。 ・必要に応じて薬剤燻蒸を実施する。 ・緊急性などを考慮したうえで、修繕計画を適宜見直し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毀損(汚破損)等の事故はなかった。 ・前年度に定めた計画に従い、滞りなく資料修繕を実施した。 	○	資料修繕については、見込まれる予算に応じて計画を立てているのが実状であり、予算を大きく超える大規模修繕については、長期計画には入っているものの、短期計画に組み入れることができない。国庫補助金に頼らない、県費での大規模修繕予算を準備する必要がある。
調査研究	表・研究成果の公開(発表・印刷物等) (常勤学芸員12名×5件、非常勤学芸員3名×4件) 72件	科学研究費助成事業等の研究助成も積極的に活用し、研究論文・展示・各種講座等により、研究成果の幅広い発信に努める。	179件	○	限られた県費研究費の中で、各学芸員は科学研究費助成事業等を活用し、積極的に調査研究活動に取り組んだ。来年度以降も同様の研究成果を上げることができるよう調査研究活動を継続していく必要がある。	
情報発信	事業情報の発信 (H25～27 3か年平均 500件) 520件	HP(ツイッター含む)を活用した情報提供や刊行物、マスメディア(紙・電波媒体、ネット)による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・HP(ツイッター455件) ・チラシ・ポスター((特展3+特陳1件)×2=8件) ・催し物のお知らせ5件 ・その他外部広報媒体(新聞171件・雑誌62件・単行書3件・その他19件・テレビ12件・ラジオ4件・web87件) 826件	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1日1件を目標にツイッターによるタイムリーな情報を周知できたことにより、目標値を大きく達成することができた。 ・今後も限られた予算の中、お金のかからない当館HP(ツイッター含む)や外部広報媒体による広報を引き続き活用していく。 	

施設運営等	観覧料及び事業 等収入	(H30 予 算書の収 入積算 額) 23,000 千円	来館者増につながる展 覧会の開催など各種事 業の実施	14,447,276 円 (62.8%)	×	今後は、歳出予算額とのバ ランスを考慮しながら適 正な観覧料及び事業収入 額を積算していく必要が ある。
	施設点検	高齢の来 館者への 配慮	展示解説の読みやすさ や館内の休憩スペース 等高齢者の視点に沿っ た点検を行う。	展示室内が暗い、解説 の文字が小さくて読め ない等の意見が一定数 寄せられている。	×	照明の交換やグラフィッ クパネルの更新は一度に はできないので、段階的 に改善していくための計 画を策定する。
	自己研鑽及び他館の 研究	文化庁等 関係各機 関が実施 する研修 に積極的 に参加し 、専門能 力の向上 を図る。	各学芸員の専門能力を 高めるための研修参加 や他館の研究を推進す るためには予算的裏づけ が不可欠であるが、30年 度はこれらに振り向ける 予算配当がないため、そ のような現状を前提とし て可能な限り取り組み を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良文化財研究所研 修等の研修に参加し た。 ・予算配当がない中、 他館の特別展・常設 展・施設等にかかる研 究に自主的に取り組ん だ。 	○	今年度実施した取り組み は、各学芸員の自主的な 努力によりなされたもの であり、継続的に実施し ていく場合には予算的裏 づけが欠かせない。来年 度は本目標を達成するた めに一定の予算が配当さ れることを館として強く 求めている必要がある。